

「ウルトラマン誕生40年の軌跡 ウルトラマン伝説」展

会 期 2006年7月11日～9月24日
開催日数 66日
主 催 川崎市岡本太郎美術館
協 力 円谷プロダクション、円谷英二プロジェクト、中部日本放送、デジタルウルトラプロジェクト
ジェネオンエンタテインメント

観 覧 料 一般900(720)円、高・大学生700(560)円
()内は20名以上の団体料金

入場者数 46,546名

1日平均 705名

図 録 A4版、48p、1200円(税抜き)

ポスター B2

チラシ A4

出品点数 約300点

担 当 者 大杉浩司、杉田真珠

[巡回展] 広島県立美術館 2006年10月18日～11月19日

横浜放送ライブラリー2006年11月25日～2007年2月4日

郡山市立美術館 2007年7月14日～8月26日



カタログ



チラシ

[開催趣旨]

岡本太郎美術館では、芸術が社会との関わりの中で創造されるものであるという岡本太郎の芸術理念を継承し、「芸術と社会」をテーマとする展覧会を開催してきた。

今回は、1966年に誕生したテレビ番組『ウルトラマン』を取り上げる。

当時は、宇宙開発時代を迎え、世界中が宇宙という未知の空間に夢を馳せた時代、ブラウン管に毎週登場する怪獣とウルトラマンの活躍は子ども達を魅了し、新たな怪獣ブームを誕生させた。本展は、伝説的なヒーローとなった初代『ウルトラマン』の番組に託されたメッセージ、魅力を探る。

[主要関連記事・TV放映]

- ・「首都圏ネットワーク(ウルトラマン伝説展)」NHK TV 2006.7.14
- ・「ニュース23(ウルトラマン誕生40年)」TBS TV 2006.7.17
- ・「かわさきスマイル(ウルトラマン伝説展)」TVK TV 2006.8.12
- ・「ウルトラな魅力発見」『読売新聞』2006.6.14
- ・「誕生から40年再評価」『神奈川新聞』2006.7.11
- ・「連載・ウルトラマン再考(上中下)」切通理作 『神奈川新聞・共同通信社』2006.8.23, 25, 27

[関連事業] [] 内は参加数

ウルトラマン撮影会

開催日 7月23日(日) [約700名]
ゲスト ウルトラマン
時間 13:00～13:30 14:00～14:30
場所 館内ギャラリー
料金 無料



ウクレレ・テーマソング野外ライブ

開催日 7月23日(日) [約200名]
演奏 ウクレレカルテット(CD「ウクレレウルトラマン」)
時間 15:00～15:30
場所 母の塔
料金 無料



メガスターII 特別投影「ウルトラマンの故郷 M78 星雲はどこだ」

開催日 7月23日(日) [236名]
時間 16:30～17:15(開場 16:10)
星空案内 國司真(青少年科学館学芸員)
場所 川崎市青少年科学館プラネタリウム
料金 大人200円、高大学生100円、中学生以下、65歳以上無料
申し込み 往復葉書にて申し込み、抽選



映面上映「宇宙人東京に現わる」(大映・1956年・カラー・87分)

開催日 8月6日(日) [約150名]
場所 企画展示室映像コーナー
料金 無料(入館料のみ)

トーク「ウルトラマンの頃」

開催日 7月30日(日) [約250名]
ゲスト 司会・桜井浩子(フジアキコ隊員)、ゲスト・黒部進(ハヤタ隊員)、飯島敏宏(監督)
場所 企画展示室映像コーナー
料金 無料(入館料のみ)



講演会 「ウルトラ怪獣 VS 岡本太郎」

開催日 9月18日(日) [約150名]
 講師 巖谷國士(明治学院大学教授)
 場所 企画展示室映像コーナー
 料金 無料(入館料のみ)



ミュージアムショップ

ウルトラマン関連商品に加え、会場限定のソフトビニール人形の販売

カフェテリア TARO

「ウルトラマンラテ」「流星ソーダ」など期間限定メニュー

[出品リスト]

作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)	所蔵
■成田亨デザイン画■				
アイロス星人	1967	ペン・水彩・紙	39.7×36.2	青森県立美術館
アントラー初稿	1966	ペン・水彩・紙	36.3×55.0	青森県立美術館
アントラー初稿	1966	ペン・水彩・紙	30.2×39.5	青森県立美術館
アントラー頭部	1966	ペン・紙	30.7×21.5	青森県立美術館
イカルス星人イラスト	1983	ペン・紙	38.0×27.0	青森県立美術館
ウルトラマンイラスト	1983	ペン・水彩・紙	36.5×25.7	青森県立美術館
ウルトラマン初稿	1966	ペン・水彩・紙	35.7×24.5	青森県立美術館
ウルトラマン初稿	1966	ペン・水彩・紙	36.1×24.7	青森県立美術館
ウルトラマン初稿	1966	ペン・水彩・紙	36.1×25.2	青森県立美術館
カネゴン初稿	1965	ペン・水彩・紙	35.7×20.2	青森県立美術館
ガラモン初稿	1965	ペン・水彩・紙	36.1×24.4	青森県立美術館
キングジョー初稿	1967	鉛筆・水彩・紙	36.5×25.3	青森県立美術館
グビラ決定稿	1966	ペン・水彩・紙	39.5×54.7	青森県立美術館
ガスラ初案	1966	ペン・水彩・紙	24.2×39.4	青森県立美術館

作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)	所蔵
ケムール人	1965	ペン・水彩・紙	37.4×24.3	青森県立美術館
ゴーガ	1965	ペン・水彩・紙	22.1×26.9	青森県立美術館
ゴーガ注意書き	1965	ペン・紙	18.1×31.8	青森県立美術館
ゴモラ初稿	1966	鉛筆・紙	39.4×36.6	青森県立美術館
ゴルドン初稿	1967	水彩・ペン・鉛筆・紙	21.9×38.5	青森県立美術館
ビートル2号試作	1966	ペン・水彩・紙	25.1×33.6	青森県立美術館
ビートルS号ドッキング案	1966	ペン・水彩・紙	16.4×37.7	青森県立美術館
ゼットン	1967	ペン・マーカー・紙	39.6×36.6	青森県立美術館
ゼットンイラスト	1983	ペン・水彩・紙	36.6×25.4	青森県立美術館
ゼットンイラスト	1983	ペン・水彩・紙	36.6×25.4	青森県立美術館
セミ人間	1965	ペン・水彩・紙	37.5×16.8	青森県立美術館
ダダAイラスト	1983	ペン・水彩・紙	38.0×26.8	青森県立美術館
ダダBイラスト	1983	ペン・水彩・紙	38.0×26.9	青森県立美術館
ダダCイラスト	1983	ペン・水彩・紙	38.0×26.9	青森県立美術館
バラージ「ノアの神」神殿セット	1966	ペン・水彩・紙	23.7×39.3	青森県立美術館
バルタン星人初稿	1966	ペン・水彩・紙	36.6×25.7	青森県立美術館
ヒドラ	1966	ペン・水彩・紙	39.4×36.5	青森県立美術館
ペスター	1966	水彩・クレヨン・紙	39.3×54.5	青森県立美術館
ベムラー(ウルトラマン)初稿	1965	ペン・紙	35.7×24.4	青森県立美術館
ラゴン	1965	ペン・紙	37.4×24.2	青森県立美術館
レッドキング	1966	ペン・水彩・紙	39.5×29.9	青森県立美術館
科学特捜隊基地セット	1966	ペン・水彩・紙	31.0×40.7	青森県立美術館
特殊潜航艇S号(3面図)	1966	ペン・水彩・紙	36.4×39.2	青森県立美術館

作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)	所蔵
■高山良策作品■				
黒い底で	1960	ミクストメディア	126.0×183.0	ストライプハウスギャラリー
二つのニッシェ	1960年頃	ミクストメディア	182.0×90.0(3 枚)	ストライプハウスギャラリー
やしんとよくぼう	1964	油彩・板	122.5×185.0	ストライプハウスギャラリー
隠の火	1981	油彩・キャンバス	75.0×55.2	ストライプハウスギャラリー
妖怪プラザ	1981	油彩・キャンバス	72.0×55.0	ストライプハウスギャラリー
ギエロン星獣	—	ラテックス	28.0×34.0×13.0	高山利子
ガラモン	—	ラテックス	24.0×12.0×10.0	高山利子
ペギラ	—	ラテックス	29.0×22.0×18.0	高山利子
アボラス(頭部)	—	ラテックス	40.0×64.0×33.0	高山利子
バナラ (頭部)	—	ラテックス	36.0×38.0×21.0	高山利子
大魔神(頭部)	—	ラテックス	53.0×24.0×29.0	高山利子
ゴモラ (頭部)	—	ラテックス、FRP	46.0×60.0×15.0	高山利子
■高山良策の原型を元とする造型■				
アンノン	—	FRP	30.0×80.0×40.0	西村祐次(M1 号)
セミ人間(頭部)	—	FRP	45.0×30.0×23.0	高山利子
ポール星人	—	FRP	73.0×32.0×37.0	高山利子
ラゴン(頭部)	—	ラテックス、プラスチック	45.0×30.0×37.0	高山利子
■高山良策造形関連資料■				
ケムラー図面	—	ペン・紙	36.0×25.0	高山利子
テレスドン図面	—	鉛筆・紙	42.0×36.0	高山利子
恐竜戦車図面	—	鉛筆・ペン・紙	30.0×63.0	高山利子
ガッツ星人図面	—	鉛筆・ペン・紙	46.×26.0	高山利子
ゼットン図面	—	ペン・紙	40.0×37.0	高山利子

作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)	所蔵
ペスター図面	—	鉛筆・ペン・紙	38.0×49.0	高山利子
ビラ星人図面	—	鉛筆・ペン・紙	39.0×22.0	高山利子
ドドンゴ図面	—	着彩・紙	38.0×29.0	高山利子
ドラコ図面	—	鉛筆・ペン・紙	42.0×30.0	高山利子
ジャミラ図面	—	鉛筆・ペン・紙	38.0×30.0	高山利子
ポール星人図面	—	鉛筆・ペン・紙	40.0×36.0	高山利子
ガンダー図面	—	鉛筆・ペン・紙	46.0×36.0	高山利子
ウィンダム図面	—	鉛筆・ペン・紙	38.0×30.0	高山利子
怪獣造型用・人型	—	針金、金網	—	高山利子
■関連資料■				
ジェットビートル	—	木、金属、塗装	30.0×60.0×50.0	西村祐次(M1 号)
スパイダーショット	—	—	40.0×50.0×20.0	西村祐次(M1 号)
ウルトラマン C タイプ マスク	—	FRP	50.0×30.0×25.0	西村祐次(M1 号)
科学特捜隊ヘルメット	—	—	30.0×30.0×30.0	西村祐次(M1 号)
流星マーク	—	—	—	円谷プロダクション
科学特捜隊ユニホーム (レプリカ)	—	—	—	円谷プロダクション
スーパーガン(レプリカ)	1966	—	—	円谷プロダクション

資料名	所蔵
<p>■ヒーロー■ ウルトラマン (1966)、ウルトラセブン (1967)、ウルトラマンタロウ (1973)、ウルトラマンティガ (1996)、ウルトラマンダイナ (1997)、ウルトラマンガイア (1998)、ウルトラマンネクサス (2004)</p>	円谷プロダクション
<p>■怪獣■ スラン星人(ウルトラマンマックス)、アントラー(ウルトラマンマックス、ウルトラマン)、キングジョー (ウルトラマンマックス、ウルトラセブン)、ユニジン(ウルトラマンマックス)、ゲロンガ(ウルトラマンマックス)、ペスター(ウルトラマン)、シーボーズ(ウルトラマン)、ギャング(ウルトラマン)、ヴィラ星人(ウルトラセブン)、レッドキング(ウルトラマンマックス、ウルトラマン)、</p>	円谷プロダクション
<p>■映画ポスター■ モスラ (1961)、キングコング対ゴジラ (1962)、マタンゴ (1963)、モスラ対ゴジラ (1964)、大怪獣ガメラ (1965)、フランケンシュタイン対地底怪獣 (1965)、大魔神逆襲 (1966)、大巨獣ガッパ (1967)、怪獣総進撃 (1968)、ガメラ対大悪獣ギロン (1969)</p>	北原照久
<p>■ソフトビニール人形 (ブルマック製) ■ ベムラー、マグラ、ジラス、ガマクジラ、ザラブ星人、ヒドラ、ケムラー、テレスドン、ジャミラ、ギガス、ゴルドン、スカイドン、シーボーズ、ザラガス、ジェロニモン、キーラ、サイゴ、ゼットン、ペガッサ星人、ベル星人、シャプレー星人、ギラドラス、ガンダー、ボーグ星人、プラチク星人、ダリー、アギラ、パンドン</p>	EXPO(鴻池綱孝)
<p>■ソフトビニール人形 (マルサン製) ■ ゴメス、ゴロー、ナメゴン、ペギラ、ガラモン、カネゴン、パゴス、バルタン星人、ネロンガ、アントラー、レッドキング、チャンドラー、ガボラ、ギャング、ドドンゴ、アボラス、パニラ、ゴモラ、メフィラス星人、ウィンダム、エレキング、ミクラス、ゴドラ星人、メトロン星人、イカルス星人、キングジョー、ユートム、ウルトラマン、ウルトラセブン、ハヤタ隊員、ダン隊員、ピグモン</p>	EXPO(鴻池綱孝)
<p>■雑誌■ 少年マガジン (41 冊、1964-68)</p>	川崎市市民ミュージアム
<p>■関連資料■ 柱時計 (1960 頃)、4 号自動式卓上電話機(1955 年代)、扇風機 (1960 頃)、ホーロー看板 アリナミン (1961 頃)、 電気釜 RC-6H (1960)、ゆで卵器 BC-301 (1962)、冷蔵庫 GR-100-TS (1963)、掃除機 VC-55-RD (1967)、テレビ 16WS (1964)、アイロン HIS-63F (1968)、ラジオ 5YC-606 (1962)、ラジオ 7P-775 (1963)、洗濯機 VK-3 (1956) ちゃぶ台、ダッコチャン (タカラ)</p>	EXPO(鴻池綱孝) 東芝科学館 川崎市市民ミュージアム
<p>■ウルトラ Q シナリオ台本■ ゴメスを倒せ!、五郎とゴロー、宇宙からの贈りもの、マンモスフラワー、ペギラが来た!、育てよ!カメ、SOS 富士山、甘い蜜の恐怖、クモ男爵、地底超特急西へ、鳥を見た、ガラダマ、東京氷河期、カネゴンの繭、ガラモンの逆襲、1/8 計画、虹の卵、2020 年の挑戦、海底原人ラゴン、宇宙指令 M774、変身、南海の怒り、ゴーガの像、悪魔っ子、燃えろ栄光(ダイナマイトジョー)、206 便消滅す、あけてくれ!、東京氷河期特技コンテ、ガラダマ特技コンテ</p>	西村祐次(M1 号)

資料名	所蔵
<p>■ウルトラマンシナリオ台本■ ウルトラ作戦第一号、侵略者を撃て、科特隊出撃せよ(恐怖のネロンガ)、大爆発 5 秒前、ミロガンダの秘密(グリーンモンス)、沿岸警備命令(ゲスラ上陸)、バラージの青い石、怪獣無法地帯、ガボラ誘導せよ(電光石火作戦)、謎の恐竜基地、宇宙から来た暴れん坊、ミイラの叫び、オイル SOS、真珠貝防衛指令、恐怖の宇宙線、科特隊宇宙へ、無限へのパスポート、遊星から来た兄弟、悪魔はふたたび、恐怖のルート 87、噴煙突破せよ、地上破壊工作、故郷は地球、海底基地救出せよ(海底科学基地)、怪彗星ツイフォン、怪獣殿下、人間標本 5・6、地底への挑戦、まぼろしの雪山、来たのは誰だ、果てしなき逆襲、禁じられた言葉、空の贈り物、怪獣墓場、射つな!アラシ、小さな英雄、宇宙船救助命令、さらばウルトラマン</p>	西村祐次(M1 号)
<p>■金城哲夫関連資料(シナリオ台本)■ 206 便消滅寸(ウルトラ Q)、富士五湖騒動(WOO)、美しき侵略者(レッドマン)、バラージの青い石(ウルトラマン)、いまにみておれ</p>	金城哲夫長男
<p>■金城哲夫関連資料(その他資料)■ 日記、スクラップブック、新企画メモノート、名刺入れ、財布、筆箱、帽子</p>	金城哲夫長男
<p>■ウルトラマン劇中写真 21 点■ —</p>	円谷プロダクション
<p>■ウルトラマンシリーズ関連ポスター■ 帰ってきたウルトラマン(1971)、ウルトラマンエース(1972)、ウルトラマンタロウ(1973)、ウルトラマンレオ(1974)、ウルトラマン 80(1980) ウルトラマンティガ(1996)、ウルトラマンダイナ(1997)、ウルトラマンガイア(1998)、ウルトラマンコスモス(2001)、ウルトラマンネクサス(2004)、ウルトラマンマックス(2005)、ウルトラマンメビウス(2006)</p>	西村祐次(M1 号)
<p>■ウルトラマンシリーズ劇中写真 28 点■ —</p>	円谷プロダクション
<p>■その他■ アンバランス企画書、宇宙人東京に現わる(シナリオ台本) ジェットビートル原寸大部分(ウルトラマン)、ダッシュマザーコックピット(ウルトラマンマックス)</p>	西村祐次(M1 号) 円谷プロダクション